

中川接骨院だより

平成 23 年 8 月 1 日発行 第 78 号

関節にたまる「水」の正体とは？



「人体の不思議」博学こだわり倶楽部から引用

52kg 級優勝で全国大会出場決定



7月18日第49回富山県中学校総合競技大会柔道競技が小杉総合体育センターで開催

我が家の長女(中三)が52kg級で優勝し、8月22日から和歌山県で開催される「全国中学校大会」の出場キップを手にしました。

中学三年間の目標であった全国大会での試合を、当日は家族で精一杯の応援をし、入賞を期待します

父談

当院での症例 両膝の痛み(ジャンパー膝)

高岡市在中 17歳 女性

【問診】

一ヶ月前より学校の部活(バスケットボール)でジャンプの反復運動で痛み発生。整形外科で安静を指示され運動痛消失その後、運動再開で疼痛再発し整形外科より紹介され来院

【検査・テスト】

左右の膝蓋骨を上方へ圧迫で疼痛著明、左右大腿四頭筋腱の圧痛、膝関節屈曲運動痛、左右大腿四頭筋↓右ハム筋↓、右後方腸骨、左右仙腸関節の圧痛あり

【施術】

初日 ブロックを使用し右後方腸骨を矯正→右ハムス筋↑、左右仙腸関節を圧着、仰臥位で大腿四頭筋の筋間を両拇指で開くように膜をリリース、腹臥位で大腿四頭筋をストレッチ

二回目(3日後)前回と同様な治療

運動痛は5→1に改善

テーピングを貼付し治療終了

治療継続中



【考察】

ジャンパー膝(大腿四頭筋腱炎)はバレーボール、バスケットボール、ハンドボールなどジャンプをするスポーツ種目で多くは成長期以降(15歳以上)に発症します。膝を伸ばす運動は骨盤から出ている大腿四頭筋→膝のお皿(膝蓋骨)→膝蓋腱(靭帯)→脛骨粗面と力が伝わっていき、ジャンプやダッシュなどによる膝関節の屈伸動作を頻繁に、かつ長時間にわたって行なったために、膝蓋靭帯の付着部分に炎症が発生し、運動時に痛みを感じるようになります。

原因として考えられるのは成長期に、骨の成長に対して筋肉の成長が追いつかず、筋肉が硬い状態を招いた結果、そのストレスが末梢の膝蓋骨周辺に蓄積するために起こる慢性・疲労性障害です。

早期の治療は関節を元の状態に戻し、後遺症を残さないためにも重要です。

急性の外傷、疲労等による腰痛、肩こり、O脚、骨盤矯正にはカイロ治療が効果的です。

カイロ治療は、真の原因をさぐり全身的な治療を施します。

初診料(検査) 2,100円

治療料 4,200円

回数券 [5回券] 18,900円

回数券 [10回券] 33,600円

回数券は家族の方もご使用できます。 但し初診料(検査)2,100円は別途必要です

編集後記

8年と6ヶ月乗り続けた黄色の軽四を乗り換えることとなりました。約10万kmを走り私達を助けてくれたのですが、残念ながらお別れすることとなりました。

黄色い車体は何処を走っていても目立つらしく、黄色のekワゴンといえば、中川接骨院の車だと、家族だけでなく皆様に親しんでいただきました。

次の車は水色です。とくに送り迎えの方は、間違えの無いようにお願いします。

診療時間の案内

平日 午前8時30分～午後12時30分 午後4時頃～午後8時

土・祝日 午前8時30分～午後12時30分

自由診療 随時受付

雨の日や足腰の都合の悪い方、送迎もいたしております。Tel26-5755にご連絡ください。

ホームページは[高岡市中川接骨院]で検索クリック

<http://judo55.com/> と 携帯版 <http://judo55.mobi/> です

